

がん細胞生物学研究室

Department of Cancer Cell Biology

教授	櫻井 宏明	Hiroaki Sakurai
准教授	横山 悟	Satoru Yokoyama
助教	周 越	Yue Zhou

◆ 原 著

- 1) Yonehara K, Zhou Y, Takahashi J, Yokoyama S, Tomihara K, Noguchi M, and Sakurai H. RSK-mediated non-canonical activation of EphA2 by tamoxifen. *Biol Pharm Bull.* 2022 Feb; 45(2): 162-168. doi: 10.1248/bpb.b21-00567.
- 2) Takahashi J*, Nakamura S, Onuma I, Zhou Y, Yokoyama S, and Sakurai H. Synchronous intracellular delivery of EGFR-targeted antibody-drug conjugates by p38-mediated non-canonical endocytosis. *Sci Rep.* 2022 Jul; 12: 11561. doi: 10.1038/s41598-022-15838-8.
- 3) Yamagishi N**, Takahashi J, Zhou Y, Yokoyama S, Makino T, Shimizu T, and Sakurai H. Non-canonical regulation of EGFR by the air pollutant 9,10-phenanthrenequinone. *Biol Pharm Bull.* 2022 Oct; 45(10): 1553-1558. doi: 10.1248/bpb.b22-00489.

◆ 総 説

- 1) Zhou Y and Sakurai H. New trend in ligand-induced EGFR trafficking: A dual-mode clathrin-mediated endocytosis model. *J Proteomics.* 2022 Mar 20; 255: 104503. doi: 10.1016/j.jprot.2022.104503.

◆ 学会報告

- 1) 周越, 大木良太, 田中章裕, 横山悟, 櫻井宏明. MK2を介した非定型的RSK-EphA2経路の制御機構. 日本薬学会第142年会; 2022 Mar 25-28; 名古屋 (オンライン).
- 2) 横山悟, 高橋篤司, 菊池亮太, 西部壮志, 周越, 早川芳弘, 櫻井宏明. 転写因子SOX10はメラノーマの免疫原性を調節する. 日本薬学会第142年会; 2022 Mar 25-28; 名古屋 (オンライン).
- 3) 大沼逸美**, 岩田悠輔, 中田真衣, 岩原宏幸, 名取香奈子, 周越, 横山悟, 櫻井宏明. 酸化ストレスによる TAB1 チロシンリン酸化の分子機構. 日本薬学会第142年会; 2022 Mar 25-28; 名古屋 (オンライン).
- 4) 永井修太郎*, 安田裕敬, 周越, 櫻井宏明, 横山悟. BRAFV600E/PTEN欠損による細胞運動亢進にはEphA2のSer-897のリン酸化とAbi1発現が必須である. 日本薬学会第142年会; 2022 Mar 25-28; 名古屋 (オンライン).
- 5) 山岸奈央**, 高橋隼一郎, 周越, 横山悟, 櫻井宏明. 9,10-phenanthrenequinoneによるMAPK活性化はチロシンキナーゼ型受容体の非定型的リン酸化を誘導する. 日本ケミカルバイオロジー学会第16回年会; 2022 May 30-Jun 1; 富山.
- 6) 高橋海斗**, 高橋篤司, 周越, 櫻井宏明, 横山悟. プロテアソーム阻害剤によるIRF1を介した腫瘍細胞の免疫原性増強. 日本ケミカルバイオロジー学会第16回年会; 2022 May 30-Jun 1; 富山.
- 7) 宋磊鑫*, 王ソウ涛, 楊莉, 周越. Ginsenoside Rg5はNF-kBとEphA2経路を抑制することで細胞遊走を抑制する. 日本ケミカルバイオロジー学会第16回年会; 2022 May 30-Jun 1; 富山.
- 8) 高橋隼一郎*, 周越, 横山悟, 櫻井宏明. p38活性化を介したEGFR-Cetuximab複合体の効率的なエンドサイトーシス. 日本ケミカルバイオロジー学会第16回年会; 2022 May 30-Jun 1; 富山.
- 9) 周越, 横山悟, 矢野聖二, 櫻井宏明. RSK-EphA2経路を介したがんの悪性化. 第26回日本がん分子標的治療学会; 2022 Jun 29-Jul 1; 金沢. 女性科学者シンポジウム賞.
- 10) 横山悟, 周越, 櫻井宏明. JAK非依存的IRF1誘導による免疫原性の増強. 第26回日本がん分子標的治療学会; 2022 Jun 29-Jul 1; 金沢.
- 11) 浜田成*, 周越, 横山悟, 矢野聖二, 櫻井宏明. EMK4-ALK陽性肺がん細胞におけるMK2を介したEphA2の非定型的な活性調節. 第26回日本がん分子標的治療学会; 2022 Jun 29-Jul 1; 金沢.
- 12) 周越, 大木良太, 田中章裕, 高島惇誌, 浜田成, 横山悟, 矢野聖二, 櫻井宏明. 細胞内ストレスはp38-MK2-RSK-EphA2経路を介して細胞遊走を促進する. 第31回日本がん転移学会学術集会・総会; 2022 Jul 7-8; 京都.
- 13) 横山悟, 安田裕敬, 永井修太郎, 周越, 櫻井宏明. PTEN欠損によるMAPK経路依存的細胞運動能亢進機構. 第31回日本がん転移学会学術集会・総会; 2022 Jul 7-8; 京都.

- 14) 山岸奈央**, 高橋隼一郎, 周越, 横山悟, 櫻井宏明. 9,10-phenanthrenequinone による MAPK 活性化はチロシンキナーゼ型受容体の非定型的リン酸化を誘導する. フォーラム2022 衛生薬学・環境トキシコロジー; 2022 Aug 30-31; 熊本.
- 15) 西部壮志*, 横山悟, 周越, 早川芳弘, 櫻井宏明. DNA damage increases cancer immunogenicity through a non-canonical IRF1 induction. 第81回日本癌学会学術総会; 2022 Sep 29-Oct 1; 横浜.
- 16) 高橋隼一郎*, 周越, 横山悟, 櫻井宏明. Synchronous intracellular delivery of EGFR-targeted ADC by p38-dependent clathrin-mediated endocytosis. 第81回日本癌学会学術総会; 2022 Sep 29-Oct 1; 横浜.
- 17) 浜田成*, 周越, 横山悟, 矢野聖二, 櫻井宏明. Non-canonical activation of EphA2 via the p38-MK2 pathway. 第81回日本癌学会学術総会; 2022 Sep 29-Oct 1; 横浜.
- 18) 大沼逸美**, 岩田悠輔, 中田真衣, 岩原宏幸, 名取香奈子, 近藤有沙, 周越, 横山悟, 櫻井宏明. SrcによるTAB1チロシンリン酸化におけるp38の役割. 第95回日本生化学会大会; 2022 Nov 9-11; 京都. 若手優秀発表賞.
- 19) 周越, 大木良太, 田中章裕, 高島惇誌, 浜田成, 宋磊鑫, 横山悟, 櫻井宏明. 細胞内ストレスを介したp38-MK2-RSK-EphA2経路の活性化. 第95回日本生化学会大会; 2022 Nov 9-11; 京都.
- 20) 高島惇誌**, 周越, 山根正也, 山田あかね, 増田豪, 横山悟, 櫻井宏明. 卵巣がん細胞におけるVEGFR-3の非定型的リン酸化. 日本薬学会北陸支部第134回例会; 2022 Nov 20; 富山.
- 21) 浜田成*, 周越, 横山悟, 矢野聖二, 櫻井宏明. EML4-ALK陽性肺がん細胞におけるMK2を介したEphA2の非定型的な活性調節. 日本薬学会北陸支部第134回例会; 2022 Nov 20; 富山.
- 22) 上中龍弥**, 松本実, 杉原祐一郎, 周越, 櫻井宏明, 横山悟. 転写因子SOX10ノックダウンによるメラノーマ遊走能の亢進メカニズム. 日本薬学会北陸支部第134回例会; 2022 Nov 20; 富山.
- 23) 田中章裕*, 周越, 大木良太, 高島惇誌, 浜田成, 宋磊鑫, 横山悟, 櫻井宏明. ストレスによって誘導されるp38-MK2-RSK-EphA2経路を介した細胞遊走. 第45回日本分子生物学会年会; 2022 Nov 30-Dec 2; 幕張.